



第 77 号

千 町 田

発行元:(農)のきの郷
安来市利弘町 922-3
Tel/Fax:22-2580
発行責任者:内田 卓実

◎代表理事

河津 一行



組合員の皆様、あけましておめでとございます。昨年は米国トランプ大統領の2期目就任に始まり、日本でも10月に史上初の女性総理大臣高市総理が誕生するなど世界情勢は変化していくなかで、国際秩序は乱れてきているように今後の経済情勢や安全保障など心配されるところです。

しかしながら、水稻栽培に関しましては決して平穏な年ではなかったというのが実情です。代かき時の水の確保が困難な上に、夏の水不足や収穫時期の長雨などが収量や品質にかなり影響したことも確かです。詳細は通常総会で説明させていただきませんが、昨年の反省をもとに作付計画を見直し新たに乾田直播栽培にも挑戦していきます。

いずれにしましても、今年は新たな挑戦の年として前進して参りますので今年もよろしく願いいたします。

◎専務理事

内田 卓実



新年あけましておめでとございます。昨年は組合員の皆様のご協力により災害、ケガもなく無事に一年間事業を進めていくことができました。誠にありがとうございます。

さて、新年仕事はじめの1月6日安来市を震源とする震度5強の地震が発生しました。組合員の皆様は被害などありませんでした。

しょうか。のきの郷の施設など確認出来る範囲で点検したところ軽微な被害はありましたが事業に直接影響を及ぼす被害は確認されなかったことをこの場を借りてご報告いたします。天災は忘れたところにやってくるといいますが、鳥取西部地震から26年経ち年明け初仕事でのこの地震は、『今年一年、注意して安全対策を忘れるな』の知らせなのかもしれません。

のきの郷では大きい災害が発生していませんが、使い方を間違えれば大災害に直結する設備、機械は作業する上での必需品です。災害を絶対に出さないことを改めて確認し、今年一年無災害で事業が進められることを念頭に置き、のきの郷が持続可能な農事組合法人に成長することを目標に一年間尽力してまいります。

組合員の皆さん今年もよろしく願いします。

◎常務理事

佐伯 正志



新年を迎え、農業に携わるものとして自然と真摯に向き合い、持続可能な生産を実現する一年にし

たいと考えています。

近年、気候変動や資材価格の高騰、担い手不足など農業を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。そんな中でも、土づくりを基本に捉え作物の声に耳を傾け、品質と安全性を重視した栽培を徹底したいと思います。

また、新しい技術や知識を積極的に学び、省力化と効率化を進めることで安定した経営基盤の確立を目指します。さらに、地域の仲間や消費者とのつながりを大切に、農業の魅力や価値を発信していくことにも力を入れたと思います。一日一日の積み重ねを大切に、失敗から学び挑戦を恐れず、次世代につながる農業を実践する一年にしたいと思いますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



ご協力ください

1月22日 地域学習

安来二中 1名



田んぼの様子

にぎやかだった
白鳥たちがなぜか
他へ行つてしまい、
田んぼは静かにな
りました。そんな中
でも春に向けて地
道な作業が続いて
います。

泥で埋まった排
水路の泥上げもそ
の作業の一つです。
寒い中で力仕事
ですが水の流れを確保する大切な作
業です。

また、田んぼに
ある作物たちもじ
つくり成長してき
ました。

菜種は田んぼ一
面に散らばって小
さな葉を広げてい
ます。



麦は青々と条につながり生えそ
ろっています。

トマトは収穫が終わりました。

ぶどうは剪定作業を進めています。
キャベツは早生から中生そして晩
生へと進めながら収穫しています。
グリーンセンターや量販店での販売
はもちろん学校給食の食材としても
提供しています。

いちごはなかなか収穫できる状態
にならなかったのですが、徐々に収
穫量が増えてきました。子供たちの
春休みに合わせていちご狩りの観光
農園を企画していますのでお楽しみ
にしてください。

キャベツといちご
は予約にて販売して
おりますのでお気軽
にお問合せくださ
い。



お知らせ

◎通常総会開催

第13期通常総会を開催しますので
ご参集くださいますようお願いい
たします。

日時… 2月15日(日) 14時
会場… 能義交流センター

◎いちご狩り開園

いちご狩りを3月下旬から5月上
旬まで開園します。開園日など詳細
は回覧などでご連絡いたします。お
誘い合わせてのご来園をお待ちして
います。

新車紹介

◎洗車場新設

トラクターなど
の足回りやロータ
リーなど作業機の
泥落としに使用ま
す。



◎トラクター導入

98馬力のトラクターを導入しまし
た。クローラタイプなので力強く作
業を進めることが出来ます。

大型トラクターの導入によりミッ
クスロータリーも導入しました。こ

れは碎土具
合を油圧で
調整しなが
ら耕耘・鎮
圧・整地を
同時に行う
高機能ロー
タリーで
す。これか
ら進めてい
く栽培技術
に不可欠な
作業機で
す。



ちよっこし聞いて

この時期が一年で一番寒い頃との
ことで節分荒れと言われるのもうな
ずけます。1月の間が寒の内立春
を迎えると春になるわけですが2月
はまだまだ寒いですよ。2月は逃
げるとかいうのであつという間に春
3月でしょうか。暖かくなるとま
たあわただしい季節にな
ります。今のうちに英気
を養っておかねば。

